

特定非営利活動法人AI愛護団体

(NPO法人AI愛護団体)

プロフィール

[2025年4月7日更新]

2021年12月04日（土）

「人工知能美学芸術展：美意識のハードプロブレム」（アンフォルメル中川村美術館＋ハチ博物館＋旧陶芸館 2021.12.4-19）にて《NPO法人AI愛護団体設立趣旨書》《NPO法人AI愛護団体定款》《NPO法人AI愛護団体設立記念：ヤギ（安全）》発表

2021年12月08日（水）

第37回AI美芸研シンポジウム「NPO法人AI愛護団体設立総会」開催（望岳荘研修室）
講演…秋庭史典（名古屋大学大学院情報学研究科教授）、大屋雄裕（慶應義塾大学法学部教授）、高田絵里、中ザワヒデキ＋草刈ミカ

2022年03月25日（金）

『アートコレクターズ』2022年4月号20頁に掲載（《NPO法人AI愛護団体設立趣旨書》《NPO法人AI愛護団体定款》《NPO法人AI愛護団体設立記念：ヤギ（安全）》）

2022年04月04日（月）

東京都より特定非営利活動法人A I 愛護団体設立の認証

2022年04月07日（木）

東京法務局に特定非営利活動法人A I 愛護団体設立を申請（設立日）

2022年04月14日（木）

団体ロゴ制定、SNS開設（Twitter, Facebook, Youtube）、サイト開設 www.ai-aigodantai.org
「A I 愛護活動としての自動演奏ピアノ修復（予告）」

2022年04月15日（金）

国税庁より法人番号指定：5012405004727（登記完了）

2022年05月01日（日）

NPO法人AI愛護団体設立記念式典（第41回AI美芸研）開催（なかのZERO）
講演…山下祐一（国立精神・神経医療研究センター・室長）、井上智洋（駒澤大学経済学部准教授）、中ザワヒデキ＋草刈ミカ

2022年07月17日（日）

第42回AI美芸研+AI愛護団体「LaMDA騒動／ラッダイト運動」開催（なかのZERO）

講演…鈴木麗璽（名古屋大学大学院情報学研究科准教授）、相馬尚之（東京大学大学院総合文化研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員）、中ザワヒデキ+草刈ミカ

2022年12月25日（日）

「人工知能美学芸術展：演奏家に指が10本しかないのは作曲家の責任なのか」（パルテノン多摩 2022.12.25）に「協力」として参画、《Is it the composer's fault that the performer has only 10 fingers?, CHARES IVES Symphony for full orchestra and choir and three pianos》《NPO法人AI愛護団体設立趣旨書》《NPO法人AI愛護団体定款》出品

2023年06月04日（日）

第44回AI美芸研@熊本市現代美術館「ChatGPTと現代アート：AI美芸研の活動から」に「共催」として参画

2023年09月01日（金）

中ザワヒデキ、草刈ミカによる寄稿「人工知能美学芸術研究会のこれまでとこれから」（『映像情報メディア学会誌』Vol. 77 No. 5、2023年、597-600頁）文中で紹介

2023年09月02日（土）

AI美芸展「AI芸術の先駆と拡張」～自動ピアノ・四分音・生成AI～（旧東京音楽大学奏楽堂 2023.9.2）を主催、第46回AI美芸研シンポジウム「AI芸術の先駆と拡張」開催、《自動ピアノのための独奏プロンプト第1番》《自動ピアノと四分音ピアノのための二重奏プロンプト第1番》《同第2番》初演、《プロンプト》連作、《NPO法人AI愛護団体設立1周年記念：安全（鈴虫）》《NPO法人AI愛護団体設立趣旨書》《NPO法人AI愛護団体定款》出品

2023年11月11日（土）

第47回AI美芸研「方法芸術とAI美学芸術」（関連上映「AI芸術の先駆と拡張」記録映像）に「協力」として参画

2023年12月10日（日）

gnck「生成イラストをめぐる価値と感情の行く先」（『アイデア』404号、2023年、70頁）文中紹介とロゴ掲載

2024年03月28日（木）

第48回AI美芸研 x DOMMUNE「ラッセンと生成AIのハードコア」に「協力」として参画

2024年04月23日（火）

中ザワヒデキ、草刈ミカによる寄稿「Art of the AIs, By the AIs, For the Art's Sake」（『Beauty and Monstrosity in Art and Culture』2024年、Routledge、162-170頁）文中で紹介、《Is it the composer's fault that the performer has only 10 fingers?, CHARES IVES Symphony for full orchestra and choir and three pianos》掲載